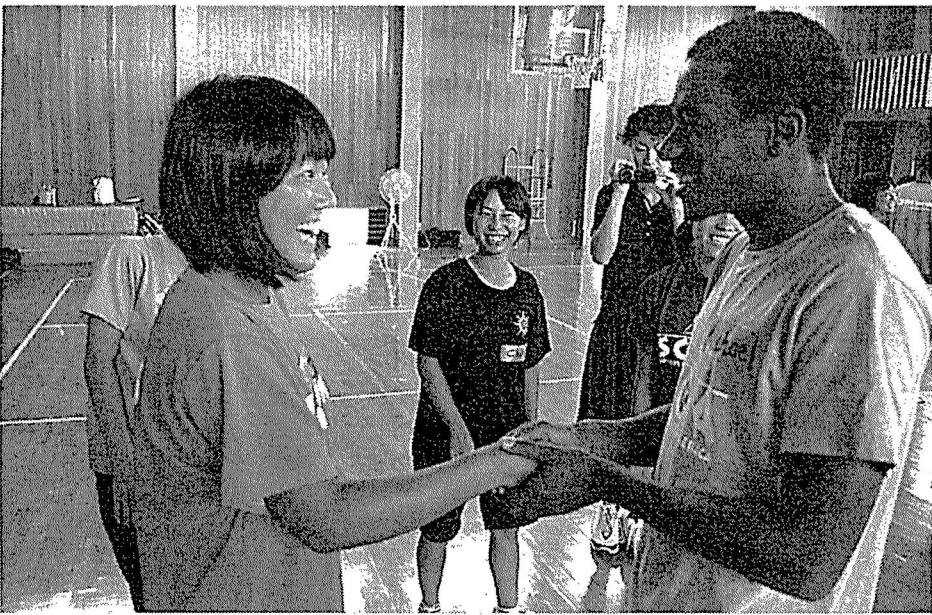


コミュニケーション力高める

米国大学生 東陵高の生徒に伝授

東陵高校の生徒と、「夏休みミニ英語キャンプ」が4日、旧仙台沼女子高校体育館で開催される。



しっかりと握手を交わし、相手の目を見ながら会話する生徒(左)

かれた。高校生は学生たちと交流しながら、コミュニケーション能力を高めた。

アメリカ人大学生と一緒に有意義な夏休みを過ごすうと、東京に本部がある「SCO A」(スポーツキャン

プオブアメリカ)が10年前から続いているマークキャンプ。

東陵高校の陸上、野球、テニス、美術部などから19人が参加。

タンフォード、コロラド、ワシントンなど米国の一線大学のスポーツ選手14人から指導を受けた。

コミュニケーションの取り方として、「人

が大切。握手をするとときは相手の手をしっかりと握り、アイコンタクトをとること」とのアドバイスを受けた

SCO AのJ・Rベ

スト圭子さんは「スポーツをするためにはちは英語の自己紹介を交えながら果敢に取り組んでいた。

陸上部で100メートル盤投げに取り組んでいる2年生の齋藤海里さんは「がっかりした握手とアイコンタクト

は苦手だが、実践してみると楽しい。少し不慣れていきた」と笑顔で話した。

は苦手だが、実践してみると楽しい。少し不慣れていきた」と笑顔で話した。